



第8回 交流会

第8回交流会 小網代の森から諸磯の自然を探訪



12月3日(日)

豪雨で中止、スタッフだけの森になってしまった前回の交流会、今回は富士山の良く見える晴天のもと、ニコニコ、三崎口駅に集まったメンバーは12人。ゲストのHさんが見えてみんな余計にニコニコしています。

水道広場に着くと、思い出したようにNさんがリュックから「みつけよう、森の色&IRO」と題したプリントを配布してくれました。これは前回10月22日にやる予定だった森歩きのテーマ、森の中を色に注目して色IRO見ていこうというプログラム

です。10月12日に下見をしながら話し合い、10月14日に決定、メールでやりとりしながらスタッフのNさんが作成してくれたものです。

歩きながら冬の森をいろいろに注目して見ていきます。細かい様子は3ページのHさんの報告にありますので、読んで頂くとして、ここではクイズで読者の皆さんの想像力を使っていただきましょう。答は次ページ下部に。



トイレ建設中 かなり大きな敷地です



ベニバナボロギク



ムラサキシキブ発見！

●●●いろいろなIROIROクイズ●●●

- ① さて、森の入り口から宮前峠まで歩く間にみんなの目に映った色の中で一番多かった色は何でしょう。
*この質問は2から5ページを色に注目して読んでからやりましょう。
- A 白 B 赤色 C 黄色
- ② 青い色の実が見つかりました。さて、私は？
- A カラスウリの実 B センリョウの実 C クサギの実
- ③ 黄色い花が咲いていました。どのグループが黄色い花の咲く仲間でしょうか。
- A セイタカアワダチソウ キツネノボタン アキノノゲシ
- B ヤブツバキ イヌタデ キツネノボタン
- C タコノアシ アメリカイヌホオズキ ミゾソバ
- ④ トキリマメの実を見つけました。ABCのうち、どの色でしょう。
- A つややかな白色 B 黒い瞳を思わせる黒色 C 輝く赤色
- ⑤ 葉と葉の間に虹色に輝くものを見つけました。時には風にも揺れて幻想的な自然のはかない造形です。誰かさんが「虹色CD」と叫んでいました。さて、この虹色の正体は何だと思いますか。
*ヒント:主がいます。大きかったり小さかったりIROIROです。
- A 陽の光を受けたスズメウリ B クモの巣 C 誰かが落としたCD
- ⑥ 見つけた色の、多い順番に正しく並んだ色の仲間はどれでしょう。
- A 赤色 ピンク 黄色 黄緑 橙色 茶色 緑色 紫色 白色 黒
- B 黒色 赤色 ピンク 黄色 黄緑 橙色 茶色 緑色 紫色 白色
- C 白色 黒色 赤色 ピンク 黄色 黄緑 橙色 茶色 緑色 紫色

いかがでしょうか。色に注目して冬の森を歩いてみて、改めて実りと動物達と緑の色との関係(補色)を感じざるを得ませんでした。果たしてこれを春の森で実施したらどんな色が目に留まることでしょうか。色でIROIRO楽しめたのが良かったです。

子ラの根元の窪みに赤手蟹の巢穴あり...と

ペンライトで蟹を見せてくれたNさん

手を合わせジツとしていた小さな赤手蟹

この場所で良く見つけたもの...と感心ばかり

この幹に足を揃え縦に細長くなっていた茶色の蜘蛛

一本だけ見られた大葉馬の鈴草の若い蔓

青木の実はまだ赤くならず緑のものばかり

もう手が付けられない？ 常盤露草のしたたかさ

大事な筆リンドウが心配(イノデと常盤露草)

森の植生の変化の説明板を子ラリ見

シノキ平の先は明るい蛇柳の原

やなぎテラスと引橋入口の案内標識

右下に犬ホオズギらしきそばで見ないと不明)

藪紫かと思う疎らに紫色の実を付けた木

針桐の若い株五月に餅を包む葉っぱ)

湿地に群生したアメリカ犬ホオズギの艶やかな実

黄緑色の数珠玉 (熟せば黒くなる)

花はまだ付けられない？ 若い春蘭の株が点在

教えて貰った緑色の小さな蜘蛛の名は若葉蜘蛛

山百合の枯れた株(来年は咲けるかも知れない)

黄色い艶やかな花と金平糖の様な緑実は狐の牡丹

もう枯れた背の高い草葎の周囲に掘られた水路

左右に流れを作り土止めに植えていた右曹

私の帽子に赤トゾボが止まり羽根を休めた様子

見事な紫式部の実を見つけたNさん

そばに湾曲した幹に枝を立て紫の実を付けた株も

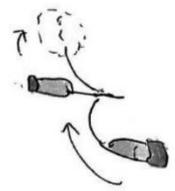
林から聞こえるのは四十雀や鴨、目白の声

日を受け白く輝く荻の綺麗な穂の群落に感動

標高七メートルの柳テラス脇に切られた樹木

(以前スズメ蜂の女王達が齧っていた幹の皮)

心作 ぼろぼろ
紅花 燈籠草
くろくろ科ハズキ科ハナコ科



下を向いて咲く
上を向いて
セバコ 真白花
エノケウ先をつけた花に

臭木 <クマツブサ科
クサギ科属>



五い萼
瑠璃玉高色 美か
青空に
比とまゆ 白史記
冬の小網兜

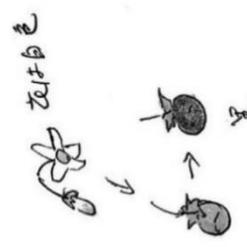
(どろりも同じ属と見えくろくろ科ハズキ科)

アメリカ犬ホオズギ
(北アメリカ産の)
帰化植物



花は渾身花
(白くも)
黒
黒
種にたかこいしは比か
御い。少し湿り乾き
子孫増殖しては群生

ハハハハ
犬酸漿
(別名にハハハ)



花は白色
黒
黒
緑
白で道端に生ずる
丸い黒い光沢のある

もう直ぐ一時なので殆ど休憩をせずにスタート
 芹や溝蕎麦など多い湿地で探した秋の鰻ツカミ
 大好きな白花桜タデに僅かに見られた白い花
 頑張つて見つけた秋の鰻ツカミの赤っぽい茎
 美しい真弓の実は落葉後に尚目立つでしょう
 枯れ草の間に見分けた茶色になった蝸の足
 直ぐ先に群生を見つけ大喜びその面白い姿
 一時過ぎシンガリで着いた暖かなエノキテラス
 仲間は太陽に背を向けて楽しそうに食事中
 自作の植物の絵葉書を売る一人のシニア
 私は絵を買わず皆と一緒に食べた昼御飯
 左手の鳥山椒の実房をくわえて右手へ飛んだ鳥
 木の枝で悠然と実を啄みながら辺りを睥睨
 みんなで見たら怒りガーンと鳴いて飛び去った
 鳥山椒の実は沢山下がついているから当分大丈夫
 鷹はのんびり輪を描くだけで近寄らないから安心
 遠くの鉄塔に鳥が驚くほど沢山集合して賑やか
 おやつを色々頂いて満腹。皆様へ馳走さま
 いつしか鳥は一羽も居なくなった鉄塔の不思議
 Mさんが見つけたノスリを双眼鏡を借りて観察
 初めて見たノスリの横顔は図鑑の絵にそっくり
 ノスリはモグラが顔を出すのをジッと待っている由
 ふわと飛んだら羽根裏は白っぽかった(覚えた特徴)
 残念ながら見えなかった百舌(葦原の方へ去った)
 二時前に出発する皆様に感謝してお別れ
 (駿潮場を見て油壺へ向かい忘年会をする一行)
 いつか行く機会はあると思う駿潮場(膝を案じた私)

ひらエシロ、
葉式部
くくアアア科
ムコウアアア科



美しい 年の実と
根白に
ついで 多岐葉心
なに見(ま)

エウヤ
真弓くニコアア科
ニコアア科



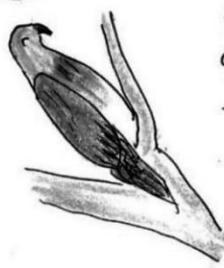
落葉の 芽にニコアア科
好産所
エウヤ科
果皮は 4 裂心
理にいい 確赤色
種子の 硬種皮

蝸の足
(ハコアア科
アアア科)



理地(ハコアア科)
多葉草
(知かまアア科
(ハコアア科)
美しい(ハコアア科)

12/1
(トコアア科
(ハコアア科))



小周代のノスリは、本木枝から
モグラが顔を出して正經のこい子由
モグラ(土竜)は
新入正地上に
龍毛生(ハコアア科)
毛も 12/100 見こい子由

●●● 油壺から諸磯へ ●●●

今回の交流会は、森を抜けて諸磯方面へ足を延ばすおまけ付き。さらにその先に忘年会が待っているのです！



まずは油壺験潮場へ。ここは国土地理院の管轄で、地図の海拔高度の基本となる、東京湾平均海面の微細な変化を監視しています。まさに油を流したように穏やかで風光明媚な油壺湾は、これ以上ないロケーションですね。関東大震災の時、地盤が1.4m隆起(海面が沈降)したことを表す教科書に出ていた有名なグラフは、この油壺験潮場のものです。明治のはじめ頃人が木の棒を差し込んで



観測した、石の柱に残る溝と井戸、明治27年から平成9年まで使われていた煉瓦造りの建物、コンピュータ式の最新の建物と、三代の歴史がそのまま観察できました。

次に向かったのは諸磯隆起海岸。柔らかいシルト質の岩肌に、イシマテガイなどの穿孔貝があけた穴が水平に幾筋も並んでいて、それが当時の汀線であることから、過去の地震による隆起をあらわしているとされ、昭和初期に国の天然記念物に指定されたところ。今回十数年ぶりに訪ねてみたら草木が覆いかぶさり、放置されて荒れた可哀そうな状態でした。管理する予算がつかないのでしょうか。



隆起海岸でしばらく休み、諸磯湾につながる谷を遡って忘年会の会場へと向かいます。台地の上に出て振り返ると、茜色の夕日に縁どられた素晴らしい富士山。太陽が沈みきるまでみんな言葉もなく見惚れていました。さあ行こうとまた振り向いたとたん、今度は東の空に大きな月が出始めました。なんと、今期最大のスーパームーンの出現でした。

その後のお酒の美味しかったこと！

(A.M)



三浦半島の植物

お汁粉やぜんざいに入っている大粒の小豆も好きですけど、粒は小さくともお赤飯には欠かせないササゲが私は大好きです。濃いピンク色のおこわの中にほんのり甘い豆を探して食べた幼い日を思い出します。

今回はそれよりもっと小さいノササゲです。一見平凡なたたずまいですが、その中に秘めたあなどれない美しさ。艶めく紫色のさやは弾けて、今頃小網代ではそこかしこに小さな小さな赤い宝石のような種が落葉の絨毯を飾っていることでしょう。

ノササゲ(野大角豆) 2010年11月



冬枯れの谷間
行きすぎないで
ノササゲが深紫の宝玉を
ひっそりとつけているから

画 野内真理子
詩 中井由実

サロン小網代 随想

随想 小網代てんてん

(29)

飛べないカラス

須田漢一

小網代の森にボードウォーク施設される前、浦の川に沿って歩いていると、目の前にさつと黒いものが落ちた。

イタチ…？ そうつと近づく。浅い流れの中にカラスがいた。人の気配に驚き、ホップで逃げる。全長40センチぐらいのハシブトカラスは、肩羽の関節が傷ついて、飛べない。流れから何とか脱け出ようと、山側の斜面を登って、落ちる。また、登っては、落ちる。それを何回か試みて、樹林の中に姿を隠した。

町中で、生ごみを漁っては蹴散らかし、人が近づくと飛びはねて逃げる敏捷なカラス。それが今、飛ぶことができずに、走って逃げる。小網代の森や干潟をテリトリーにしているミサゴやタカ、ダイサギ、カワウなどの中に侵入して傷を受けたのだろうか。それとも仲の悪いトビとの空中戦で落ちてしまったのか。不覚、と思っても、遅い。現実の厳しさだけがそこにある。

鳥の翼は人の腕と同じものだという。ただし根もとから胸にかけて、人とは比べものになら

ない大きな筋肉の付いた翼をひろげ、羽ばたき、浮力をつけて空へ上がる。そうした機能に欠かせない重要な関節に裂傷を負えば、揚力ようりょくと推力すいりょくを得ることはできない。

競争の厳しいカラスの世界に怪我や病気で飛翔ひしょうできなくなり、群と一緒に行動ができないものは落伍者である。人の世界に設けられた社会保障や介護などは、無に等しい。ダメージを受けたものは仲間を受け入れられず、追われ、つかれ、生命の危険にさらされる。自死など考えられないカラスが生きるためには、群を離れ、ひとりで暮らさなければならぬ。

カラスだけにいえることではないが、自然の中で生きていくのには、いつ、どこで餌にありつけるかを、熟知していなくてはならない。食物のあることを察知し、それを手に入れなければ、死が待つのみだ。動かないものは何とかなるが、小動物、昆虫、魚類などは必死で逃げる。飛べないカラスは追いつけない。植物も、高いところにある果実は手に入らない。どう対処していくのだろうか。

中国で、約1億6千万年前の地層から羽毛恐

竜の化石が発掘された。翼を持ちながら飛ぶこととはなく、地上を動きまわっていたらしい。現生種でも、ダチョウ、ヤンバルクイナ、ペンギン、キウイなど地上で生活する鳥が何種かいる。飛べないカラスも、そうした鳥たちと同じように、生きていくのだろうか。

幸い、カラスは何でも食べる。人の出した生ゴミはもちろんのこと、昆虫、鳥の卵や雛ひな、イモムシ類、磯に打ち上げられた魚、川や池の生きもの、干潟の貝類、エビ、カニ、落下したハゼの実やカラスザンショウの堅果、トマト、ヤマブドウ、ヤツデなどの漿果しょうか、といったものを組み合わせれば、生きられるかも知れない。

人はカラスに対して、にくらしいと思う反面、生きるための厳しさも教えられる。と同時に、その習性の中には、私たち自身の生き方を見直すヒントが、隠されているのではないだろうか。森に隠れ去った飛べないカラスが、無事に生きられることを祈るのだった。

2013/1/30

あまり我が国へ詳細な報道はされていないが、広大なユーラシア大陸の中でも中国は地震が多い国である。

2008年5月12日、四川省汶川県の山岳部周辺でマグニチュード8.0の直下型の大地震が発生した。北京オリンピック開催まで、僅か3ヶ月前の事である。重大な被害を受けた地域は、我が国の3分の1に相当し、死者行方不明は約8万7千といわれている。この大災害を克服して、中国は夏のオリンピック開催を強行し無事に成功した。

私たちは同月22日、北京から山西省の五台山へ登っている。3000メートル級の5つの峰々が連なる山岳仏教の聖地である。災害直後のことであり自粛するつもりであったが、中国側から予定どおり来中してほしいと要請があったので、出掛けたものである。

寺院本堂には、赤布へ「為四川汶川大地震遭難同胞祈願」と筆書きで掲揚してあった。

四川省山岳部3000メートル圏内に生息する、野生のパンダも多数被害を受けたといわれる。小学校や公共の建物群の倒壊が激しく、住民達はトウフのオカラ建築といって非難した。現地の中国新聞写真報道によると、ヒキガエルが自動車道へ数千数万匹も地上に姿を現し大きな話題となった。カエル達は、地中の微かな兆候振動を感じ取って行動したものと考えられるという。

四川省は四川盆地といわれ、緯度は奄美大島や沖縄本島に相当する。3000メートル級の山岳地帯でも積雪は無く、パンダの好む竹や緑の木々が生い茂っている。面積人口共に、我が国に匹敵する広い地域である。省都は成都、人口1000万、高層ビルや地下鉄工事が盛んである。世界の屋根チベット「ラサ」への入口で、ジェット機で約2時間。私も、2度利用している。古代「蜀」の都で、三国志に登場する国王劉備玄德や軍師諸葛孔明の陵や墓がある。有名なのは、本場四川料理「陳麻婆豆腐・チンマーボ トーフ」発祥の地で、横浜ランドマーク地下レストラン街にも支店がある。オススメです。



中国 桂林動物園



上映中止の幻のパンフレット

北京から150キロ、内陸部重工業都市の河北省唐山市で、巨大な大地震が発生している。今から約40年前の、1976年7月28日。中国史上最大級といわれ、死者24万、重軽傷16万。M7.8級の直下型の大地震である。

1923年9月、大正12年の関東大震災では死者行方不明は10万5千と記録に残る。

中国では、なんと最近になってこの唐山大地震を映画化したのである。記録破りの大ヒットで、中国映画史上最高傑作といわれ、海外メディアから「最もヒューマンイズムと感情に富んだ力作」と絶賛された。運命のドラマに、中国2000万の人達が号泣したと伝えられる。

しかし、我が国では2011年3月下旬からロードショーとして上映予定のところ、東日本大地震が直前に発生した。当然のことで上映は急遽取止めになり、今後の上映計画は未定という。

今日の小網代 1月7日(日) 鳥たちの声だけが響く静寂の森。水神様に一番近いヤシャブシ坂の登り口まで行き、今年の無事を願い、そっと手を合わせる。振り返ると、ジャヤナギの裏にマメヅタが！ もうなくなってしまったかと思っていたマメヅタに会えるなんて、さっそくの御利益に感謝。


 小網代を詩う

鳥の国

中井由実

もう 閉園まぢか

木道を行くのは私ひとり

ハンノキの梢を照らす斜めの陽の中を

クワツ、クワツと鳴きながら

小さな鳥が枝を渡る

浦の川の流れは豊か

水音とからむのはアオジの声か

チツ、チツとどこまでもついでくる

谷の上空を

羽ばたきもせず影のように滑って行くトビ

もう一羽

航空ショーの戦闘機のような宙返りをした

スーパームーンなる月入道が昇るこの日

人絶えて 夕暮れ

小網代は鳥の国になる

枯れ野にて

中井由実

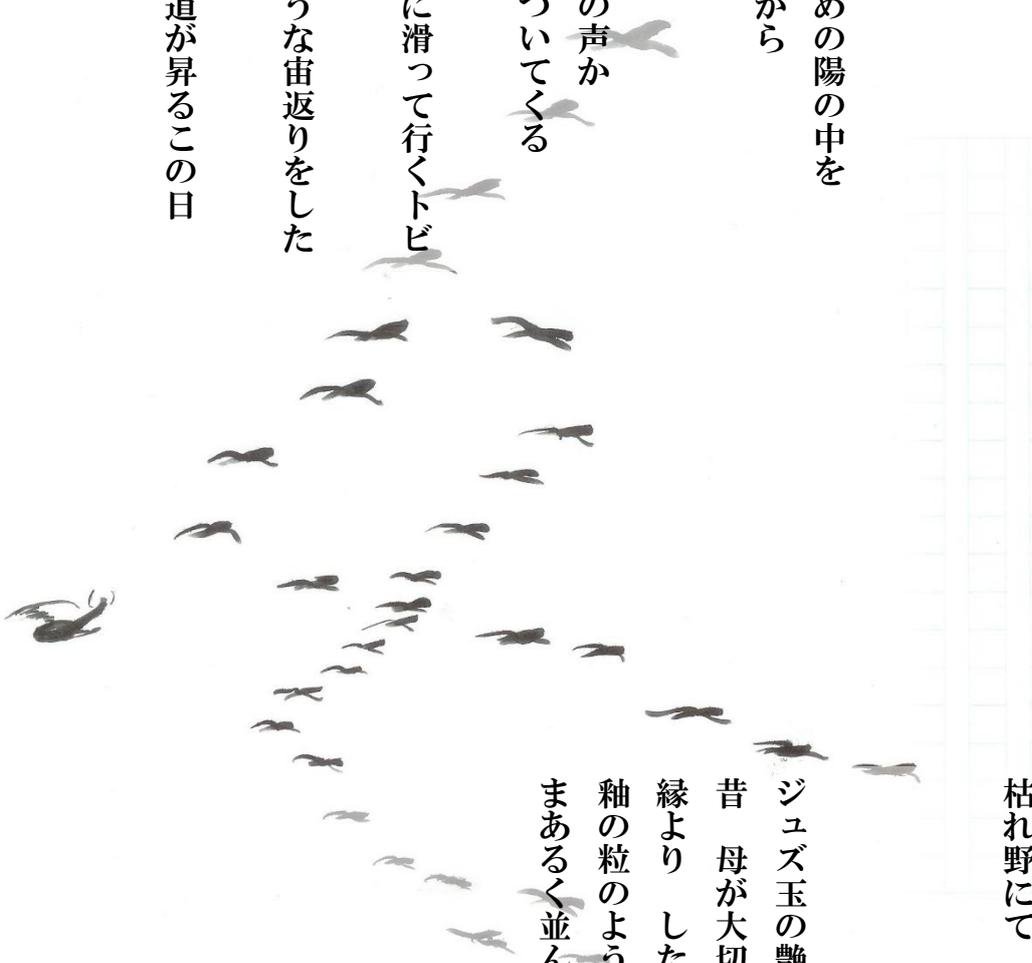
ジュズ玉の艶めく白

昔 母が大切に使っていた志野焼きの表面に

縁より したたり凝った

釉の粒のように

まあるく並んでいる



こあじろの森くらぶ NEWS

●●● 野内眞理子さん植物画展ご報告 ●●●

期 日 2018年1月9日(火)から15日(月)まで

場 所 逗子文化プラザホール 1階ギャラリー

開 場 9時～18時 入場無料

主 催 こあじろの森くらぶ有志

入場数 9日(火) 62名、10日(水) 87名、11日(木) 59名、12日(金) 88名、
13日(土) 66名、14日(日) 123名、15日(月) 92名 合計577名

有志スタッフ のべ38名

逗子市役所に近い逗子文化プラザホール、図書館と大ホールや各種会議場に隣接した植物展会場は人の出入りが多い所です。コーナーには、野内さんの子供さん一同からとして大きな生花が飾られ美しい彩りを添えて実に華やいでいました。またMさんからもポスター下部へ生け花や、机上に鉢花が並べられていました。野内さんの、元お住まいの人たちやご友人が多く来場され交友の広さを感じさせていました。逗子市山の根地区の自治会からは、会報へ記載するからと取材に来られました。また、次の植物画展の会場候補として「横浜市ひまわりの郷」へ是非という来訪者の声がありました。

野内眞理子さんは、元小網代の森を守る会のスタッフ、会計担当として20数年間にわたり会の財政を支えてきた方です。穏やかで優しいけれど、きっぱりしたところもお持ちの人柄が愛され慕われておいででしたが、病を得て2013年8月17日に泉下の人となりました。72歳の若さでした。

その後ご主人さまから、遺品の中にこんな絵があると、53点の植物画を寄付していただきました。静かに誰にも語られずこのような素晴らしい絵画を残された野内さんの奥ゆかしさに会員一同は感じ入り、いつしかこの絵を一人でも多くの方に見てほしいなという願いを抱くようになりました。有志を募り、額縁を手作りし、販売用に絵葉書を印刷しました。第1回はこあじろの森くらぶ総会で、次いで横須賀市、三浦市で展示会を開催してきました。小網代の森に咲く植物のほか、私達のなじみ深い身近な花々の輝く生命に満ちた空気を感じていただければ幸いです。

制作年代順に作品一覧があり、全ての花の名へ仮名文字と漢字が付けてあります。これはスタッフのHさんが作成したもので、どのようにして調べ記入したのか実に感じ入る次第です。(S.S)



来場された方のお話から、眞理子さんのスーパーウーマンな面が出てくること、出てくること、正に能あるタカです。

プラザ受付の方々の細やかな心遣いに感謝！感謝！です。



額縁の作り方を教えて欲しいという方があり、ペーパーが品切れだったため、Tさんが実演。

楽しかった～！
大きすぎる達成感をもって幸福です。

寄付金のお礼に用意した、くらぶのグッズが好評で3日目にはもう品切れ！嬉しい悲鳴でした。



始める前は不安もありましたけれど、“みんなのチカラ”で良い展示会ができました。

これまでお付き合いのなかった方々と眞理子さんを通じて、たくさんお話できました。

野内さんの植物画拝受いたしました。お世話様、ありがとうございます。感謝です。

本当に素敵な女性でしたネ。あこがれでした。優しさ、ひたむきな愛も・・・。あれ程の女性はいません。みなさまに愛され、永遠に輝いていますよネ。のうちさん。2018年1月16日 花中山岳会 N.S

スタッフの活動

- 2017.11.26(日) スタッフ会議(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
こあじろの森くらぶ通信 No.9 印刷
- 2017.12.01(金) 野内眞理子さん植物画展、会場打ち合わせ(逗子文化プラザホール)
- 2017.12.03(日) 第8回交流会「小網代の森から諸磯の自然を探訪」10:00 三崎口駅前集合
諸磯散会后、「緑の会」(油壺入口 みつ葉)
- 2017.12.10(日) スタッフミーティング(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.12.25(月) 第9回交流会お知らせ葉書(通信号外) 発送
- 2018.01.09(火) 野内眞理子さん植物画展搬入(逗子文化プラザホール)
(展示終了まで全日1~3名のスタッフが常駐)
- 2018.01.15(月) 野内眞理子さん植物画展撤収(逗子文化プラザホール)

●●● 第9回交流会のお知らせ ●●●

第9回交流会 「恒例、鳥いっばいの谷と海」

昨年大好評でした早朝コースを定番にいたしました。どちらのコースのご参加でも、もちろん両方のご参加でもOKです。小さな鳥たちの囁き、ノスリが悠々と空に浮かぶ姿、ミサゴが魚を捕らえる瞬間、たくさんの冬の森のいきものに出会えたらいいですね。

開催日：2018年2月4日(日)

*荒天の場合は中止します

★早朝谷あるきコース

お待ち合わせ：8:00 水道広場 10:30 にのんびり漁港コースに合流

★のんびり漁港 コース

お待ち合わせ：10:00 三崎口駅前(バスで移動)
10:30 小網代漁港(棧橋近く・ペレルカフェ前)
14:30 頃水道広場で散会

講師：別府史朗氏

持ち物：お弁当、飲み物(あれば双眼鏡、図鑑など)

対象：「こあじろの森くらぶ」会員とそこご家族、ご友人

* 保険はありませんので、ご参加は自己責任でお願いします。

* 寒さの厳しい季節です、防寒対策を十分にお仕度ください。

こあじろの森くらぶ通信 No.10

2018年1月28日発行

こあじろの森くらぶ Koajiro Woods Club

所在地：〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田 1528-75

連絡先：info@mori-club.com (高橋)

046-889-0067 (仲澤)

URL : <http://www.mori-club.com>

年会費：1000円(7月~6月 入会金不要)

郵便振替 こあじろの森くらぶ 00290-6-137203